



# B E T H E L 通 信

## 2024年8月号（第253号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000  
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

### ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を 根付かせるための取り組み

がん看護専門看護師の上杉です。昨年度から始動した「アドバンス・ケア・プランニング委員会」について2023年12月号で紹介させていただきましたが、再登板の機会をいただきましたので続報を書かせていただきたいと思います。

アドバンス・ケア・プランニング（以後、ACPと略します）とは「一人一人が万一の時に備えて、自分の大事にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて自分で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりすること」と言われており、厚生労働省が名付けた「人生会議」の愛称でも知られています。

生死にかかわることについてなかなか話しにくいという気持ちは当然あると思いますが、私たちは病気を患って入退院している患者さま一人一人のお体の状態を通して、これからの生き方（場合によっては生き終え方）について、無理のない対話を進めていきたいと考えながら取り組んでいます。

無理のない対話は、相手の身体状態と気持ちを推し量りながら思いやりの心がないと難しいと思います。それを日々感じつつ、言語化（私たちが工夫し作成したシートへ記録する）を各部署で進めています。

この活動を始めたことで、これまでよりも患者さまの希望を中心にした話し合いがご家族とできるようになってきた、との反響がきかれるようになりました。また、あるケースでは患者さまがこれまでの心残りについて語られたこと医療者が聴き取ったことがきっかけになり、患者さまとご家族の誤解が溶け和解できた事例などもありました。他にも、注射や吸引などについて患者さまの思いを聴き取ることでご家族を交えて処置の方策を考えることができた、などの事例も多数あり、やはりACPを進めることでベテルの理念「ホスピス精神を大切にした全人的なケアの実現」、「その人らしさを大切にした医療/看護ケア」の実現に近づけるのだなと思えるようになりました。

これからも委員会活動をしながら、聖愛会以外にもこの活動を無理なく発信できるようにさらに頑張りたいと思っています。

（がん看護専門看護師 上杉 和美）



# あなたは何世代？



まだまだ若手のつもりですが、研修医やレジデントと話していると考え方の違いに驚かされます。私も研修医の時には指導医の先生から「現代っ子」「今時の考え方」などと言われていたことを思い出します。この世代間の考え方の違いに苦しむ人もいますが、私としては学びの場と捉え、考え方の違いを楽しませてもらっています。今回は、この『世代』について色々と考察してみたいと思います。

昨今、メディアで『Z世代』という言葉を目にするようになりました。インターネットで調べてみると、それ以外にも『ベビーブーマー世代』『X世代』『Y世代』という言葉もありましたので、各世代の特徴をまとめてみました。

名称	生まれた年代	世代の特徴
ベビーブーマー世代	1947～1964年	第2次世界大戦終結後の人口爆発に生まれた世代 勤労意欲が高く、「努力は必ず報われる」「正しい行いは評価される」という価値観を持つ傾向がある 競争意識が高い 仲間意識が強い
X世代	1965～1979年	高度成長期やバブル期に生まれ、ライフスタイルやテクノロジーの劇的変化を経験した世代 順応性が高い 個人主義が強い ワークライフバランスの概念を確立
Y世代	1980～1995年	バブル崩壊や就職氷河期、リーマンショックといった不景気な時代の中で育った世代 懐疑的であり、合理的な考え方を 物欲が低い一方で、興味を持てるものを追求する 競争意識が低く、メンタルが繊細
Z世代	1996～2012年	インターネットやSNSで多くの人種、経験を持つ人と触れ合うことができる世代 人種や考え方の多様性を受け入れ、論理的思考をする 格差社会や気候変動といった不安定要素に直面しており、リアリストの傾向がある 争いごと・衝突を避ける

ちなみに、私はY世代です。血液型占いのように、バーナム効果を感じざるを得ない内容だなど思いつつも、『これこそ、懐疑的じゃねえか！』と自分でツッコミを入れてしまいました。明確に分類できることは少ないと思いますが、少なくとも二世離れした特徴とは違うなとは思いますが、皆さまはどう感じられたでしょうか？



(ホスピス/えんげ外来医師 阿部 康範)

# COPD(慢性閉塞性肺疾患)①

## COPD とは

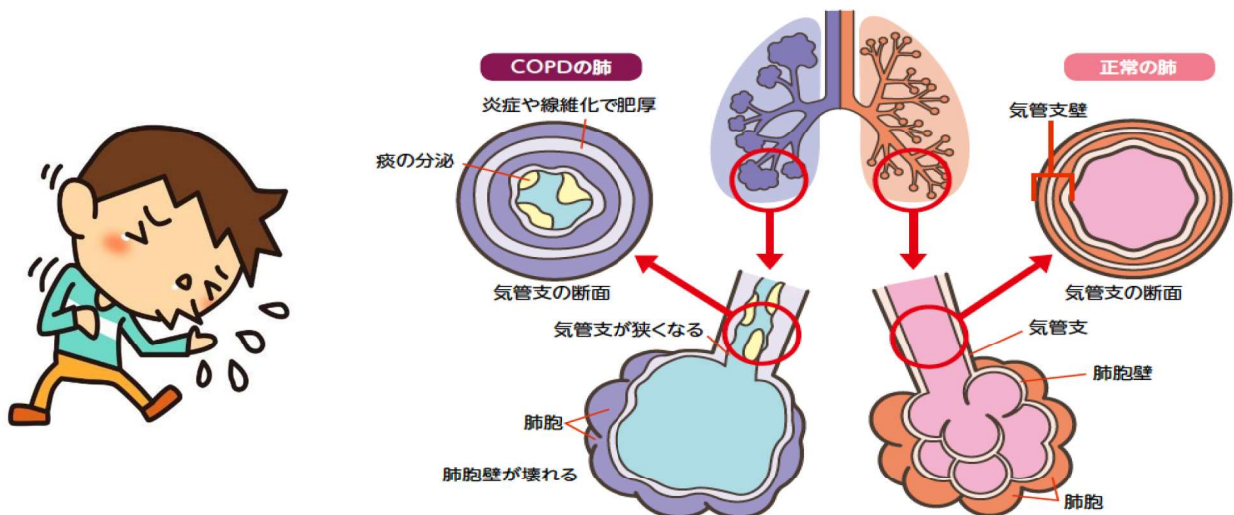
タバコの煙を主とする有害物質を長期に吸入暴露することで生じた、肺の炎症性疾患です。息をするときに空気の通り道である気管支やその先にある肺胞に障害が起き、少しずつ破壊されます。その結果、肺機能が低下します。原因のほとんどが喫煙であることから、生活習慣病のひとつとして注目されています。

## 症状

COPD になると、風邪でもないのに咳（せき）や痰（たん）が出ます。肺胞と末梢気道で慢性的な炎症が生じるため、空気の通り道である気管支が狭くなり、肺にたまった空気を吐き出しにくくなります。空気の十分な排出ができなくなると、肺の中に空気が溜まり息を吸い込むのも難しくなります。

次第にちょっとした動作をする際にも、息切れや息苦しさを感ずるようになります。

さらに進行すると呼吸困難になり、日常生活に支障をきたします。重症になると呼吸不全に陥ったり、全身に障害が現れたりすることもあります。



当院には 80 列 CT 装置が導入されており、COPD を評価することが可能です。

次回はその詳しい解析方法についてお話します。

参考資料：スマート・ライフ・プロジェクト COPD（慢性閉塞性肺疾患）  
<https://www.smartlife.mhlw.go.jp/disease/copd/>

（放射線課 高橋 祐介）

## 外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）  
8月7日（水）、8月21日（水）

◎8月の休診（7月23日現在）  
8月 6日（火）佐々木 徹 医師（内科）  
8月30日（金）大西 哲史 医師（内科）

8月15日（木）は  
休診です。  
マイクロバスも全便  
運休となります。



### \*ベテルバス運行ルート変更のお知らせ\*

7/16(火)より市駅前ロータリーは進入不可となり、運行ルートを『三番町クリニック』→『千舟町4丁目交差点前』→『松山協同教会』へ変更させていただいております。市駅や高島屋付近をご利用の際は、市駅から最寄りの停車場所『千舟町4丁目交差点前』をご利用ください。詳しくはベテル病院ホームページをご確認ください。

松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

#### 8月 接遇目標

二〇二四年 八月の接遇目標

忙しい時こそ  
しっかりと聴く耳を持ち  
相手の気持ちを考えましょう。

聖愛会  
接遇委員会

接遇委員会

#### 7・8月 医療安全推進目標

安全

患者確認は安全管理の第一歩

7・8月医療安全推進目標

ご本人確認のため  
お名前をフルネームで生年月日も  
お願いします

受付の時 診察の時 検査の時 注射の時 お薬の時

医療安全委員会

## 新人紹介

うだか しょうご  
宇高 将吾



配属部署：リハビリテーション課  
職 種：作業療法士  
抱 負：一日も早く業務に慣れて、ベテル病院の一員となれるように頑張ります。よろしくお祈りします。

- ・投函箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投函をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。

はやし ゆうた  
林 裕太



配属部署：栄養給食課  
職 種：栄養士  
抱 負：一日でも早く仕事を覚えて頑張りたいです。よろしくお祈りします。

うつのみや ふみあき  
宇都宮 史晃



配属部署：2階西病棟  
職 種：看護師  
抱 負：今までの経験を活かし、少しでも早く力になれるよう頑張ります。

発行日 2024年7月23日